

心理学系だより (2007. 4. 1~2007. 9. 30)

I 人事異動

2007年4月1日 松井めぐみ助教 助教昇任
 2007年4月16日 Nandini Vasudevan 助教 就任 [ペンシルベニア州立大学]

II 学系構成員 (2007年9月30日現在)

	研 究 領 域				
	実験・動物	教育・認知	産業・社会	発 達	臨床・相談
教 授	一谷 幸男 小川 園子 菊地 正	茂呂 雄二 服部 環	松井 豊 吉田富二雄	新井邦二郎 大川 一郎 櫻井 茂男	石隈 利紀 小川 俊樹 小玉 正博 田上不二夫
准教授	加藤 克紀 山田 一夫		岡田 昌毅 湯川進太郎	佐藤 有耕 濱口 佳和	笠井 仁 杉江 征 田中 輝美
講 師				佐藤 純 永作 稔	堀越 勝 望月 聡
助 教	Nandini Vasudevan				松井めぐみ
準研究員	末永 叔子		新井 洋輔 宇井美代子	下山 晃司	竹澤みどり

Ⅲ 心理学系教官指導論文題目一覧

1. 2006年度 博士論文

(1) 課程博士

心理学専攻

氏名	論文題目	指導教員
池田 幸恭	青年期における母親に対する感謝の発達的変化	佐藤 有耕
香川 秀太	学内学習－臨地実習間の状況間移動に伴う看護学生の学習過程 ：境界横断論の観点から	茂呂 雄二
竹中 一平	大学生の日常会話におけるうわさの伝達	松井 豊
立脇 洋介	異性交際の感情過程モデル	松井 豊
杉山 東子	ニオイ認知過程における嗅覚表象の性質	菊地 正

ヒューマン・ケア科学専攻

氏名	論文題目	指導教員
伊藤 正哉	自分らしくある感覚（本来感）についての心理学的研究	小玉 正博
川崎 直樹	自尊心制御モデルから見た対人恐怖傾向と自己愛傾向の研究	小玉 正博
福森 崇貴	不快情動回避の個人差に関する臨床心理学的研究 －青年期破壊的行動理解の一助として－	小川 俊樹
中原るり子	看護学生における投薬エラー発生の分析およびエラー管理訓練に関する研究	小玉 正博

感性認知脳科学専攻

氏名	論文題目	指導教員
昌子 浩孝	マウスの養育行動発達に対する親の養育の影響	加藤 克紀

(2) 論文博士

氏名	論文題目	主査
市原 学	数学・国語における自己調整学習モデルの検討	新井邦二郎
竹澤みどり	青年期における依存性の適応的観点からの検討	小玉 正博

2. 2006年度 大学院博士課程人間総合科学研究科 中間（修士）論文

心理学専攻

氏名	論文題目	指導教員
臼井 東	言語実践としての道徳性研究：教師が語る道徳	茂呂 雄二
相羽 美幸	大学生の恋愛における問題状況と恋愛スキル	松井 豊
新井 崇史	犯罪不安の測定と不安喚起要因 －犯罪不安尺度の作成を中心に－	吉田富二雄
伊藤真利子	アウトプットモニタリング・エラーを検討するための 一本指タイピング課題の提案	菊地 正

遠藤 巧 心理尺度のカテゴリ判断における回答者固有の基準
-項目反応モデルによる数量化-

服部 環

ヒューマン・ケア科学専攻

氏名	論文題目	指導教員
浅野 憲一	大学生におけるわりきり思考傾向が抑うつ感情の低減に及ぼす影響	小玉 正博
岩佐 和典	ロールシャッハ材質反応と成人愛着との関係に関する心理学的研究 ～視覚-触覚間クロスモダル・プライミングの観点から～	小川 俊樹
江口めぐみ	児童の主張における他者配慮の検討	濱口 佳和
大鳥 由之	中学生の抑うつ症状、不安症状と注意、記憶バイアスとの関連	新井邦二郎
定廣 英典	賞賛獲得欲求、拒否回避欲求が日常生活での演技に及ぼす影響	望月 聡
田崎 淑子	学校でのピア・サポート導入の効果に関する研究	新井邦二郎
田中 千枝	大学生における境界例心性と対人関係のストレス及び対処行動に関する研究	小川 俊樹
丹羽まどか	不定性感情の扱い方とその効果の検討	小玉 正博
李 貞美	醜貌へのとらわれに影響する要因の日韓比較研究 -身体的魅力と対人恐怖心性の観点から-	小川 俊樹

感性認知脳科学専攻

氏名	論文題目	指導教員
内海奈緒子	若齢期の社会的相互作用剥奪による雄マウスの行動変容 : c-Fos 蛋白発現を指標とした他個体遭遇時の脳内神経応答の分析	加藤 克紀

3. 2006年度 大学院修士課程教育研究科学校教育コース 修士論文

氏名	論文題目	指導教員
小林 孝裕	中学生の防衛的悲観主義を規定する要因の検討	櫻井 茂男

4. 2006年度 大学院修士課程教育研究科カウンセリングコース 修士論文

氏名	論文題目	指導教員
石井 恵	日常的な音楽聴取行動と心理的ウェルビーイング -聴取動機と聴取スタイルとの関わりから-	笠井 仁
大澤 薫	中学校教師の同僚や管理職に対するとらえ方および コミュニケーションスキルが教育活動のモラルに与える影響	石隈 利紀
岡村美穂子	いけばな制作場面における心理的体験の構造	笠井 仁
桂 香代子	職場の人間関係における葛藤から心理的成長へのプロセス -修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析-	濱口 佳和
金子 育子	精神科単科病院において若手医療従事者の 精神的健康に及ぼす患者の自殺の影響 ～キャプラン危機理論モデルの観点から～	濱口 佳和
倉本 大介	組織における説得スキルの研究	松井 豊
小岩 舞子	大学生の就職活動における自己意識の変容について	小玉 正博
佐藤 和彦	青年期の仮想的有能感と同年齢者に対する呼称の関係	田上不二夫

鈴木 伸輔	自衛隊生活への適応に関わるリアリティショックの検討 －入隊動機と集団同一視をふまえて－	湯川進太郎
高橋 幸子	対人的ネガティブイベントへの反応過程について	松井 豊
辻 さと子	労働者の労働（職業）価値意識と仕事の適応感（生き活き就労感）との関係	小玉 正博
西田 篤史	性犯罪者の認知の歪みとその背景要因	湯川進太郎
野島 美幸	精神疾患を対象としたデイケアにおける成人のアスペルガー症候群への援助 －デイケアでのスタッフの変化を中心に－	田中 輝美
半田 幸子	小学校の通常学級の「仲間を受け入れる」ソーシャルスキルを高める援助 ～特別支援教育を踏まえた学級づくり～	田中 輝美
藤井 淑子	一連の法的措置による経験が非行少年の更生に与える影響	笠井 仁
宮内 静枝	中学生の友だちへのかかわり方とグループの機能が学校享受感に与える影響	石隈 利紀
森田 孝	叱られ経験における受け手の心理過程と態度受容	湯川進太郎
森田 裕子	女子高校生の小グループの閉鎖性に関する要因	田上不二夫
山崎 優子	小学生のとらえる学習スタイルと教授スタイルの マッチングが適応感に与える影響	石隈 利紀
井上奈穂子	企業内ワーキング・マザーの心理的変容プロセス －職業人としての自己・母親としての自己の観点から－	濱口 佳和
渡邊 裕子	気分転換法による反すう思考と抑うつ気分の軽減に関する認知行動療法的介入	田中 輝美
藤井 茂子	母子保健室登校による母親の変容過程のモデルの構築 －修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析－	濱口 佳和
丸尾さやか	ソーシャルワーカーの倫理的ジレンマの構造と職務充実感との関係	笠井 仁
五十嵐えりこ	看護職者のアサーティブな自己表現とソーシャルサポートの関連	田中 輝美

5. 2006年度 人間学類心理学主専攻 卒業論文

氏名	論文題目	指導教員
青木 大輔	転機における理想－現実自己調節過程の検討	杉江 征
網干 舞	対人専門職を志望する学生の特性	堀越 勝
石黒宏一郎	英語動詞の意味学習におけるコア理論の有効性の検討	茂呂 雄二
石黒 哲司	自己開示傾向及びソーシャルサポートと来客招待傾向との関係	田上不二夫
市橋 創	覚醒時および睡眠導入時の音楽の聴取が日中の気分に与える影響について	湯川進太郎
伊藤由美子	健康嗜癖とその規定要因	笠井 仁
梅崎 恵	問題行動理解としての青年期のひとりで行われる能力に関する研究	小川 俊樹
梅津 直子	中学生における攻撃性と社会的情報処理特性・適応感との関連 －関係性攻撃を中心に－	新井邦二郎
大河内真裕	幼児の向社会的行動に及ぼす養育態度の影響 －養育態度の世代間伝達も含めて－	櫻井 茂男
大塚小百合	喪失体験領域による体験に対する意味の付与と自己成長感の生じ方の差異検討	堀越 勝
緒方 洋輔	fMRIを用いた単純接触効果の影響下における脳活動の測定	一谷 幸男
奥野 涼子	アサーション及び攻撃的な自己表現における社会的情報処理の違い	濱口 佳和
落合 萌子	高対人不安者の表情認知－表情の文脈の影響－	松井 豊
勝見 太一	批判的思考態度の発達過程とその要因の検討	櫻井 茂男
川口亜貴子	好まれる歌詞の特徴抽出の試み －大学生に支持されるJ-popの歌詞を題材として－	茂呂 雄二
神戸真由子	中学生における親から期待される自己と現実自己の一致度 －自己主張・過剰適応ならびに自己受容との関連－	新井邦二郎

久保田聖史	犯罪者のサイコパス傾向と犯罪発覚可能性認知 －大学生との比較を通して－	湯川進太郎
高坂 春菜	自己理解と対人場面への適応感が精神的健康に与える影響	小玉 正博
小高 絹子	大学生の小集団における役割被期待度と遂行度のズレが適応に及ぼす影響	笠井 仁
後藤 康文	オンラインコミュニティにおける悩みの共有が日常生活に及ぼす影響 －自尊心・社会性・問題解決の観点から－	吉田富二雄
齋藤 智	中学生の登校意欲の研究	新井邦二郎
柿原 佳菜	女子学生の母性準備性と個人化志向の関連	小川 俊樹
佐々木恵理	自己評価の基準に関する検討 －自尊感情と否定的自己の変容との関連から－	杉江 征
佐藤 伸明	WEBサイトの検索を求めるテレビCMにおいて 視聴者の検索意図を形成する要因	服部 環
佐藤 利恵	幼児前期の子どもをもつ母親の育児ストレスと養育行動について －母親の私的自意識と公的自意識に着目して－	濱口 佳和
杉 有可	大学生の友人関係スタイルにおける対人葛藤方略スタイルの相違の検討	堀越 勝
富田 恵美	自己志向的完全主義と睡眠状態との関係	田上不二夫
長尾 仁美	幼児の自己制御能力尺度の検討 －注意機能の観点を踏まえて－	櫻井 茂男
長澤 志穂	再会時不安 －再会時に抱く感情・思考と影響を及ぼす諸要因	望月 聡
永田 絵梨	潜在連合テスト (IAT) による色彩と感情語の関連の分析	吉田富二雄
新里 泰士	触覚による数量判断 －サビタイジングの検討－	菊地 正
根子千朱貴	中年期女性の就労選択プロセスの探索的検討	松井 豊
長谷川仁美	「癒し」が精神的健康に与える影響 －安堵感に注目して－	杉江 征
畑中 美希	身体の姿勢が課題遂行および気分に与える影響	望月 聡
花井 友佳	大学生における結婚願望の具体的側面とその関連要因	佐藤 有耕
林 宏之	知的障害児に対する大学生の態度・イメージに関する研究	濱口 佳和
林田 太郎	自己憐憫の構造とその背景要因の検討	佐藤 純
原 佳奈美	ウェブログ上に表現された自己 －執筆者・友人・閲覧者の観点から－	吉田富二雄
原口 昌士	いじめの中・長期的影響と社会的スキルとの関係	新井邦二郎
日比野 篤	喫煙行動とコーピングスタイルの関連 － goodness of fit および自己効力感からの検討－	小玉 正博
布川 寛乃	コレクションが与える心理的效果	服部 環
寶迫 暁子	情動知能 (EQ) と怒りの対処法が加害的な行動傾向に与える影響	堀越 勝
本多 博之	釈明が自己および他者の感情に及ぼす影響	望月 聡
松澤裕美子	失恋を扱った流行歌の聴取に関する研究	松井 豊
宮城 佳代	対人関係におけるユーモアの表出と精神的健康との関連	田上不二夫
宮崎 悦子	視覚探索におけるターゲットテンプレートの複数設定可能性	菊地 正
森田 麻美	旅行者モチベーションと性格特性の関連	笠井 仁
八鍬真理子	中学生の教師に対する被援助志向性と自己肯定意識との関連の検討	新井邦二郎
山内 綾子	大学生の進路意思決定における興味の明確さと探索姿勢との関係	櫻井 茂男
山岸 哲也	中学生の学級環境の認知的評価とストレスとの関連	佐藤 純
吉川 裕乃	子育て完全主義傾向からみた育児ストレスと援助要請との関連 ～保育士に対する援助要請～	小川 俊樹
渡井 浩太	マウスの活動性の制御に果たすエストロゲンの役割 ～アロマターゼノックアウトマウスを用いた行動解析	小川 園子
キムジェミン	完全主義および原因帰属様式と抑うつ傾向との関連	小川 俊樹
後鳥 結美	大学生の居場所感の類型と適応との関連	小川 俊樹
武内 聡	完全主義, 社会的比較が精神的健康に及ぼす影響	望月 聡
林 悠	ラットの放射状迷路学習における指示性忘却	山田 一夫
水野美奈子	インターネット上において匿名性が相互作用及び印象形成に及ぼす影響	吉田富二雄

IV 2006年度各種表彰など

氏名	受賞名	受賞対象論文・発表題目名(掲載誌), または受賞理由
○相羽 美幸	平成18年度筑波大学人間総合科学研究科心理学専攻専攻長賞(筑波大学人間総合科学研究科心理学専攻, 2007年2月)	大学生の恋愛における問題状況と恋愛スキル, 2006年度筑波大学大学院人間総合科学研究科中間論文, 2007.
○池田 幸恭	平成18年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻心理学専攻専攻長賞(筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻, 2007年3月)	青年期における母親に対する感謝の発達の变化, 平成18年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻学位論文, 2007.
○池田 幸恭	平成18年度筑波大学大学院人間総合科学研究科人間総合科学研究科専攻長賞(筑波大学大学院人間総合科学研究科, 2007年3月)	青年期における母親に対する感謝の発達の变化, 平成18年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻学位論文, 2007.
○伊藤 正哉・小玉 正博	本明賞(日本健康心理学会, 2006年9月)	自分らしくある感覚(本来感)とストレス反応, およびその対処行動との関係 健康心理学研究, 18(1), 24-34.
○高橋 尚也	第13回上武学術奨励賞(筑波大学心理学系, 2006年9月)	「大学生における地方公務員イメージの構造とその規定因」(産業・組織心理学研究19巻2号, pp.37-49)の業績に対して賞を受けた。
○高橋 尚也	平成17年度社会安全研究財団・若手研究助成(財団法人 社会安全研究財団, 2005年7月~2006年10月)	「地域防犯における地域住民と行政機関との協働に関する社会心理学的研究」という研究テーマが, 28件の応募者の中から採択され, 研究資金として100万円を受領した。
○濱口 佳和	H.W. Stevenson Travel Award for International Scholars (Society for Research in Child Development, 2007, March)	A study of proactive aggressiveness scales for adolescents: In case of Japanese sample, Society for Research in Child Development 2007 Biennial Meeting (Boston), Poster session12, No.156, 2007.